

令和8年度 第1回大牟田市健康福祉推進会議摘録

開催日時：令和8年8月24日（月）13:30～15:30

会 場：大牟田市役所北別館 4階 第1会議室

出席委員：堺委員、藤原委員、村山委員、秦委員、三浦委員、近藤委員、
内田勉委員、内田伸哉委員、泉田委員、古賀委員、井田委員、
橋口委員、奥園委員、水田委員、永江委員、篠倉委員、宮崎委員、
奥園委員、桑原委員、永石委員、石田委員、西田委員、叶委員

欠席委員：松尾委員、嶋田委員

事務局：保健福祉部長 森、保健福祉部副部長 龍、福祉支援室長 吉澤、
福祉課総合相談担当課長 岡村、健康づくり課長 楠、
福祉課障害福祉担当課長 草村、
福祉課介護保険担当課長 谷川、
福祉課主査 上村、平田、藤田、村上、吉田
健康づくり課主査 宿利
福祉課 甲斐田、田中（聡）

概 要：以下のとおり

1. 委嘱状交付

…委員に対し、委嘱状を交付した。

2. 市長あいさつ

…市長より挨拶を行った。

3. 委員紹介

…出席委員23名より自己紹介を、事務局より欠席委員2名の紹介を行った。

4. 会 議

（1）会長及び副会長選出

…立候補及び推薦はなかったため、事務局案として「会長：村山委員、副会長：松尾委員」を提案し、承認された。

（2）第1期計画の概要及び第2期計画策定に係る進捗状況報告について

…会議資料1から7に基づき、事務局より説明を行った。

※（2）①②③④終了毎に、下記のとおり質疑応答・意見交換が行われた。

＜質疑応答・意見交換＞

①第1期計画の概要

○委員

子どもの計画は含まれていないという理解でいいか。

○事務局

そうです。

②第1期計画の目標達成状況

○委員

（基本目標2（2）『食育に関する実践力向上』に係る成果指標『主食・主菜・副菜をそろえて1日2回以上毎日食べる市民の割合』の指標の数値については、目標50%に対して実績が46.1%で、目標まで達成できなかった、という事務局の説明であったが、自分の感覚では、イベントなどの参加者の声からもっと高い評価のように感じる。

（実績値を測るための）アンケートのやり方によると感じるが、たとえば（画一的なアンケート手法だけでなく）市が行ういろいろな行事の中で、（参加者である）市民に、もっと幅広くアンケートを取ってみるなどした方が、（実績値が）上がってくると思うがどうか。

○事務局

現在は、実測値に近い市民アンケートの結果で実績を測っている。成果指標の取り方については必要に応じて検討していく。

○委員

確認であるが、基本目標1（4）包括的な自殺予防体制の構築については、目標がパーセントで記載されているが、「%（パーセント）」は不要ではないか。

（※自殺死亡率は人口10万人あたりの自殺死亡者数であり、資料において実績と目標に%が表記されており、資料の誤植ではないかというご指摘。）

○事務局

ご指摘のとおり。

○委員

令和3年度と令和5年度の自殺者数が多いようだが、コロナ禍以外に要因はあるのか（コロナ禍の影響もあるとは思いますが）。

○事務局

（実績値については、国から情報提供を受けている範囲までしか分からず）要因分析までは出来ていない。ただ委員ご指摘のように、コロナ禍の影響によ

り、人間関係の希薄化は（要因の一つとして）あったのではないかと考えている。

○議長

（さきほどの指摘については）％ではないということですね。人口 10 万人あたりの自殺死亡者数だから。

③第2期計画に係る基礎調査等の報告について

○委員

資料 5 福祉に関するアンケートの P54、『あなたは、障害支援（程度）区分の認定を受けていますか』という質問について、回答の分析欄の『知的障がい（A 判定）』の区分 1 に非常に幅がある。A 判定の区分 1 の人がこんなにいるのかと思い驚いている。

P94 については、アンケートの文字が見えにくい部分がある。

同じく**資料 5**の P91 については、福祉避難所を知らない人が 77.4%（もいるという現状）は、どうなのかと思う。

○議長

ほかに、注目すべき点等がありますか。

○委員

資料 1 令和 8 年度第 1 回大牟田市健康福祉推進会議の P20 の『関係団体等への意見聴取』において、（障害分野からの意見として）65 歳に到達した際、障害福祉サービスから介護保険のサービスに移行すると書いてあるが、障害がある方が 65 歳に到達したからといって健康状態が良くなることはないと思う。

（むしろ）高齢化によって障害の状態は（支援を受ける必要性の割合の方が）高くなっていくと思うが、他の人から聞いた話では、（障害福祉サービス介護保険サービスに移行することで、受けられるサービスの）制限が増え、十分なサービスが受けられないという話を聞いたことがあるが、それはどういうことなのか伺いたい。

○事務局

ご指摘のように、障害福祉サービスを利用されていた方が、65 歳になられたら介護保険制度へ移行することとなるが、制度間ギャップがあるということは事実である。現時点としては、なるべく自宅で生活ができるように支援していくことを、関係者や事業者の方と話し合いながら進めていきたい。

○議長

障害と介護、他分野の重なる領域（の論点）については、まさに、他分野を横断する本会議で議論すべきテーマである。制度間の移行がスムーズになるように分野横断で検討できたらと考えている。

ほかに意見はありますか。

○委員

資料 4 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告の P9 について。駿馬・勝立地区の低栄養が非常に低くなっている。何故なのか。

○事務局

本件については、偶発的に健康状態がいい方にアンケートが届いた可能性もあり、要因分析に至っていない。

○議長

引き続き、要因があるのか探ってください。

○委員

資料 6 P5 について。過去 1 年間に居場所を変更した利用者利用者の行先別人数。病院の次に、介護老人保健施設の人数が非常に高くなっている理由は？

○事務局

居宅介護支援事業所のケアマネさん、地域包括支援センターの方、小規模多機能型介護事業所のケアマネさんへ尋ねたアンケート。その方たちが過去 1 年間に関わった方々が、自宅からどちらに移りましたかという質問になる。病院あるいは病院に入院して老人保健施設に入られたり、もしくは通院しながら老人保健施設に入られた方の人数になる。

○委員

先ほどの駿馬・勝立地区の（低栄養状態が低いのは、なぜなのかという）件についてだが、駿馬地区は地域住民同士の交流が多い。地域の交流に参加されている高齢者の方が中心になって頑張られている。（低栄養の割合が低いのは、そういった背景もあるのではないか）。

④第2期計画の策定の方向性

○委員

第2期計画の基本目標（案）の基本目標1では、第1期計画にあった『一人ひとりが尊重され』というキーワードがなくなっているのが、気になる（大切な視点だったのではないか）。

第2期計画の案『基本目標2 健康で自立した生活を送れている社会』と『基本目標3 地域で自分らしく暮らせている社会』については、（テーマが）似ている（ように感じる）。（それぞれの違いが）何なのかが見えてこない。

基本目標4については、第1期計画では『新たな担い手が生まれる持続可能な社会』としており、地域での支え合いも含まれていたはずだが、今回は医療・福祉サービスに限定されている。

○事務局

今回、いろいろな業界の皆さんと意見交換をする中で、人手が不足している中で、サービスの供給体制を維持できるのか不安だとの意見をいただいたので、特にこの部分にフォーカスをして目標を立てたところ。地域の担い手も重要な課題であるため、目標名については、再度検討したい。

○議長

次期計画の基本目標案において、基本目標4が医療・福祉サービスに限定されているのではないかとのご意見だった。たしかに、地域の支え合いを基本目標4の施策に入れるのであれば、目標名をサービスに限定してしまうことには、少し違和感がある。また基本目標1についても、権利擁護の観点から、『一人ひとりが尊重され』という言葉も大切なキーワードだろう。

今日は、結論が出ないと思うが、意見を出すだけ出していただきたい。

ほかに意見はありますか。

○委員

国民健康保険の一人当たり医療費について、国や県と比べるとかなり高いとのことだが、その内容について、どれだけ調査（分析）されてあるのか疑問。一人当たりの医療費の比較だけではなく、疾患別で比較しないと、本市の課題は見えてこないのではないかと。

○委員

第2期計画の案の『基本目標3 地域で自分らしく暮らせている社会』について、「地域」という言葉が出ていますが、地域とは何を指すのか。大牟田市のことなのか、校区のことなのか、自分が住んでいるところなのか、あるいは居場所のことなのか。（地域という言葉の範囲は）色々あると思うので、「地域」という言葉の概念整理が必要なのではないかとと思うが、今のところの（事務局の）考えを知りたい。

○事務局

地域というものを、大牟田市に限定したつもりはない。本人の意思が尊重されるような社会にしたい。自宅や、住み慣れたこのエリアで最期を迎えたり、望む場所で生活したりという、本人の意向が尊重される社会にしたいという意味で「地域」という言葉を使っている。そこを考えられる環境整備や、まちづくりをしていかなければならないと考えている。

○委員

「地域」の概念整理をした方がいいのでは。

○議長

「地域」の意味ですね。本人が希望する場所ということだろうが、「地域」という言葉をどういう意味で使っているか、検討する必要がある。

○委員

第1期計画は9つの計画が含まれており、第2期計画は、さらに3つの計画を追加するとのことだったが、「成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画」と「認知症施策推進計画」を分ける必要があったのかを知りたい。

○事務局

両計画は、国で定められている計画の名称（なので、別々の名称になっている）。両方とも、本市では既に取り組んでいる事業であるが、今後も、伴走しながら本人の生活を続けていただけるよう次期計画に含めている。

○委員

第1期計画には「引きこもり支援」が入ってなかったと思うが、全国では15歳から64歳までで、50人に一人が引きこもり状態にある（という統計が出ている）。引きこもりを個人の問題ではなく、社会問題としてとらえ、（引きこもり支援も）第2期計画に入れてもらいたい。

○事務局

第1期計画に（引きこもり支援という）記載はないが、第1期計画P128に、『これから考えたい取り組み』として『不登校の子供の居場所づくり、家族支援』を挙げている。相談に関しては市役所の総合相談担当、子ども（の相談）に関しては、子ども家庭センターで受けている状況。相談窓口をまず知ってもらうことが大事だと考えている。

社会福祉協議会が事務局となり、「大牟田引きこもり支援ネットワーク会議」を組織してもらっており、市としても（引き続き）連携を図っていきたい。

第2期計画に（引きこもり支援を）どのように取り込めるかについては、今後検討したい。

○委員

引きこもりの件については、相談窓口まで行けない人がほとんど。窓口の設置から、もう一歩掘り下げた内容を決める必要があるのではないかな。

○事務局

そのような支援策も含め検討していきたい。ご意見ありがとうございます。

○委員

高齢者については地域包括ケアシステムがあるが、精神障害における『にも包括』についても、（次期計画において）検討してもらいたい。

○委員

第1期計画の基本目標1では、『同じ立場や課題を経験した人同士の支え合いの場の充実』があったが、第2期計画では、どこに入るのか。当事者論として必要なことだと思う。特に大牟田市は、（同じ立場や課題を経験した人同士の支え合いの場などが）少なく、発達障害児の家族等も、今後、増えていくと思う。どのあたりをどう考えているのか聞きたい。

○事務局

ご意見ありがとうございます。検討していきたい。

○委員

第1期計画と第2期計画の案を並べてみて、なにがどう変わるのかを整理してほしい。

○議長

第2期計画の（事業などの）中身が入ったら、もう少し、分かりやすくなるだろうが、今度は中身が入ってしまうと（変えにくくなって）難しい。

第1期計画策定時には、基本目標のキーワードなど、その時の意味合いがあったと思うので、それらが第2期計画にどう受け継がれているのか、また変えるとすれば、どういう意図で変えようと思っているのかななどを、もう少し説明していただきたい。

○事務局

具体的に、ぶら下がる事業も含め、お示しが出来ればよかったが、まず基本目標の叩きが出来たこの段階で、皆様の意見を募りたかった。土台ができた段

階で、計画の肉付けをしていこうと考えていた。今日の意見を伺ったので、基本の土台を作って、今後お見せしたい。

○議長

関係団体ヒアリングでは、第１期計画が分かりにくいという意見をいただいていたが、今日の会議では、（出席している委員の皆さんから）第１期計画の言葉の意味を、もう少し大事にしたい旨の意見が出ているので、再度ご検討いただければ。

ほかに意見はありますか、

○委員

第１期計画策定時に、基本目標２の「住み慣れた地域で」ということを、大事にして目標を立てた記憶がある。また、基本目標３は、「どのような方でも、いろいろな形で社会参加が出来る社会」をととても大事にした結果、この基本目標となったと思う。それを変えてしまうのであれば、どうして変えるのかなどの理由を示してほしい。納得できないという訳ではないが、理由が必要。基本目標の分かり易さも大事なことだと思うが、計画では、基本目標をもとに進捗管理していくので非常に大切。安易に変えてしまうのは問題。基本目標４についても、サービスに限定されているのが気になった。検討していただきたい。

○議長

ほかに意見はありますか。

最後に、重層的支援体制整備事業実施計画を今回含むということであるが、重層は、参加支援や地域づくり、相談支援など計画の中のいろいろなところに散らばっていると思う。要素は散らばっているが、最終的に大牟田はこのように進めていると、別途示す必要があるのではないか。ご検討いただきたい。

いろいろな意見が出たので、事務局は大変だと思うが、もう一度第１期計画と突き合わせも含め、検討していただきたい。

5. その他

（１）次回以降の会議日程について

…事務局より今後のスケジュールについて事務連絡を行った。

（以上）